

本学では他の研究機関で行われる研究のために、情報を提供しています。

研究課題名	副腎ホルモン産生異常に関する調査研究
研究期間	2026 年 3 月 31 日まで
研究の対象	2023 年 4 月～2025 年 12 月の間に広島大学病院内分泌・糖尿病内科で両側性大結節性副腎皮質過形成の診断・治療を受けられた方
研究の目的・方法	<p>研究目的：内分泌の診療・研究を専門的に行っている日本全国の内分泌専門家（内科、小児科、放射線科、病理学）が協力して全国の患者さんのデータを収集、解析して、診断方法や治療方針を作成・改訂し、質の高い医療が行えるようすること。</p> <p>研究の方法：各病院で得られた診療情報を大分大学病院、慶應義塾大学に集めて整理し、また各専門施設で解析を行います。本学からは、研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを倉敷中央病院に提供し、両側副腎皮質大結節性過形成に関する情報の収集・解析を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：既往歴、家族歴、生活歴、治療歴、年齢、性別、現症、身長、体重、血圧、脈拍、蛋白、アルブミン、AST、ALT、ALP、<math>\gamma</math>GTP、BUN、Cr、Na、K、Cl、Ca、P、eGFR、血糖、HbA1c、血算、CRP、ホルモン(レニン、アルドステロン、ACTH、コルチゾール、DHEA-s、TSH、FT4、FT3、カテコラミン、メタネフリン、ノルメタネフリン、HVA、VMA、GH、IGF-1、LH、FSH、エストロゲン、プロゲステロン、テストステロン、PRL、ADH、PTH)、尿一般定性、胸部レントゲン所見、心電図所見、心エコー所見、CT 所見、MRI 所見、シンチグラフィ所見、骨密度、副腎病理所見</p>
外部への試料・情報の提供	倉敷中央病院への情報提供は、エクセルデータを電子メールに添付し送付することで行います。
提供を開始する予定日	本学における提供の許可日（2026 年 1 月 23 日）
個人情報の保護	情報を提供する際は、氏名等の個人を直接特定できる情報は提供しません。個人と連結させるための対応表は、本院の責任者が保管・管理します。
研究組織	<p>研究代表者</p> <p>大分大学医学部</p> <p>内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座 教授 柴田洋孝</p>

	<p>【研究全体の実施体制】</p> <p>別紙：研究全体の実施体制を参照</p>
<p>本学の試料・情報の 管理・提供者の氏名 提供機関の長の氏 名</p>	<p>広島大学病院内分泌・糖尿病内科 助教 馬場隆太</p> <p>広島大学理事 田中純子</p>
<p>研究への利用を辞 退する場合の連絡 先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方 もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象と しませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出 による不利益が生じることはありません。</p> <p>広島大学病院内分泌・糖尿病内科 担当者：助教 馬場隆太（ばばりゅうた） 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5198</p>